

# 平成 17 年度 事業報告書

平成 17 年 4 月 1 日から  
平成 18 年 3 月 31 日まで

当財団法人は、産業廃棄物の適正な処理、その他廃棄物に関する各種事業を行うことにより、県民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与することを目的に設立された法人であり、適正な廃棄物処理に万全を期して県民に信頼される廃棄物処理センターとして受け入れを促進し、関係法令等を遵守した適正な処理を行うとともに、廃棄物の適正処理に関する情報の発信や啓発事業に取り組み、県民の快適な生活環境の向上に努めた。

## 1 公益事業

### (1) 情報公開

財団法人の組織や施設の概要、利用者・見学者への案内等について情報発信を行うため、ホームページを開設している。

17年度から、産業廃棄物に関する解説や環境測定結果等の情報を公開している。

また、施設の見学案内を掲載し、ホームページで申し込めるサービスを開始し利用者の便宜を図っている。

#### 主な掲載項目

- ・ 事業団概要、施設概要、利用案内、施設見学案内
- ・ 種類毎の受入基準、搬入予約、申込書等諸様式
- ・ 事業報告書、寄附行為、経営改善計画書
- ・ 環境測定結果、廃棄物一口メモ、廃棄物 Q & A

### (2) 廃棄物の適正処理に関する啓発

保健衛生イベントにおいて、不法投棄の防止と最終処分場の現状やリサイクル製品推進事例、廃棄物サンプル等を紹介し、環境保全への意識高揚及びリサイクルの促進に取り組んだ。

また、啓発活動を充実するため、新たに啓発用パネルを 2 枚 (A0 判) 作成した。

#### ア 出展・展示の実績

- ・ 6 月 岩手県環境保健研究センター 特別シンポジウム
- ・ 7 月 いわてクリーンセンター施設公開
- ・ 9 月 江刺市保健衛生大会

#### イ パネルの掲載内容

- ・ 廃棄物の定義と種類 ・ 産業廃棄物と一般廃棄物 ・ リサイクル事業例
- ・ 廃棄物の受入実績 ・ 環境測定結果 (排ガス、処理水、地下水)

#### ウ いわてクリーンセンター 10 周年イベントの実施及び記念誌の発行

(3) その他視察等に対する啓発活動

県内外からの視察者（平成 17 年度 917 名）に対する当センターでの処理状況の説明や、電話等による廃棄物処理相談に対する処理方法の指導及びリサイクル事業への取り組み事例等の紹介などにより普及啓発活動を行った。

(4) 理事会開催

開催月日	会議名	開催場所	会議議題等
平成 17 年 5 月 30 日	第 31 回理事会	岩手県民会館	1 平成 16 年度事業報告及び収支決算 2 資産の総額の変更 3 評議員の選任 4 常務理事の選任
平成 18 年 3 月 22 日	第 32 回理事会	岩手県民会館	1 平成 17 年度収支補正予算 2 クリーンいわて事業団中期経営計画書（アクションプラン） 3 平成 18 年度事業計画及び収支予算 4 平成 18 年度短期借入金の借入限度額 5 理事長、副理事長及び常務理事の選任

(5) 評議員会開催

開催月日	会議名	開催場所	会議議題等
平成 17 年 5 月 20 日	第 14 回 評議員会	岩手県民会館	1 会長及び副会長の選出 2 平成 16 年度事業報告及び収支決算 3 資産の総額の変更 4 役員の選出
平成 18 年 3 月 17 日	第 15 回 評議員会	岩手県民会館	1 平成 17 年度収支補正予算 2 クリーンいわて事業団中期経営計画書（平成 18 年度～平成 20 年度） 3 平成 18 年度事業計画及び収支予算 4 平成 18 年度短期借入金の借入限度額 5 役員の選出 6 規程の一部改正

## 2 廃棄物処理事業

(1) 適正な廃棄物処理

平成 17 年度は、242 日廃棄物を受け入れ、受入量は 48,750 トン（前年度比較 4,124 トン減）で、1 日平均受入量は 201.44 トン（前年度比較 18.87 トン減）となった。

この減少は、医療系廃棄物、廃プラスチック等の焼却処分を主とする民間の産業廃棄物焼却施設の影響を受けたことや木くずを燃料として活用するバイオマス発電等のリサイクル事業が進んだことによる。

しかし、県民の環境保全意識の向上や排出事業者の廃棄物の多様化により利用件数は増加し、契約件数は平成17年度末で7,414件(前年度比較842件増)となった。

(別表 - 平成17年度廃棄物受入実績)

(2) 施設・設備の整備

ア 第 期最終処分場整備予定地に生育する希少植物の保全のために移植して保護するビオトープを整備した。

17,193千円

イ 受入量の増加を図るため、既存処分施設の区画変更を行う天端標高100mの盛土堤を構築した。

47,563千円

(3) 予防保全マニュアルの充実

平成16年度作成した予防保全マニュアルを充実させるため予防保全マニュアル検討委員会を立ち上げ、検討委員会を4回実施してマニュアルの見直しを行った。

その資料をもとに、従事者を対象とした研修会を3月に実施し、関係者への周知徹底を図った。

3 第 期最終処分場整備事業

(1) ビオトープの整備

整備予定地に生育するヒメビシ等の希少植物の生育環境を確保するため、現生育の隣接地に池と水路からなるビオトープを整備した。

17,193千円

(2) 浸出水処理施設発注仕様書作成等

浸出水処理施設の発注仕様書を作成するとともに、廃棄物処理施設整備計画書を作成し国庫補助を要望した。

また、林地開発計画変更に係る協議書を作成し、計画の変更を協議した。

12,466千円

(3) 環境影響評価書の作成

平成16年度作成した環境準備書に対する知事意見を勘案し、準備書の記載事項を追加修正して環境影響評価書を作成し、公告・縦覧した。

4,500千円

(4) 希少植物調査・移植及び猛禽類調査

整備予定地に生育する希少植物の生育状況を調査し、その一部を新たに整備したビオトープに移植した。

また、区域周辺に飛来する猛禽類の繁殖状況を調査した。

4,680千円